



目指す学校像	新たな時代に向けて、伝統ある進学校としての期待に応えつつ、自主自立の校風を継承・発展させ、リーダーとなる良識ある人材を育成する。
--------	--

重点目標	<p>1 文武両道—学力向上と特別活動等を両立させ、高い目標に果敢にチャレンジする生徒を育成する。</p> <p>2 自己実現—様々な機会を通して視野を広めつつ、高い「志」を実現できる生徒・グローバルに活躍できる生徒を育成する。</p> <p>3 情報発信—積極的に情報を発信して、生徒・保護者・地域等からの期待と信頼に応える学校づくりを推進する。</p>
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	名
※資料を送付し、各評議員、評価懇話会各委員より意見等をいただいた。		

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)		
年度目標					年度評価(2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>○生徒全体の学力向上と上位層の高い志の維持により、進学状況は良い方向に進んでいる。質の高い授業と体系的な指導を一層継続する必要がある。</p> <p>○行事、部活動ともに生徒は積極的に活動をしている。さらに地域と連携した活動を増やし、生徒の成長を促す。</p>	<p>自立した学習者の育成する。放課後の学習を充実させる。高度な授業内容の構築と指導方法の工夫改善する。</p> <p>教職員一人一人が高い意識を持ち、特別活動に取り組む。</p>	<p>①入学当初から、学習法講座や卒業生講話を実施する。</p> <p>②主体的対話的で深い学びにつながる学習を実践するなど、授業改善に取り組む。</p> <p>③継続的な補習や自主ゼミ指導、学習環境整備を通じ生徒の主体的学習の質と時間を確保させる。</p> <p>①校内組織の連携を密に、さらに行事等を活性化させる。</p> <p>②地域との連携を視野に入れた活動を行う。</p>	<p>①自主ゼミ・補講の開講状況及び参加状況</p> <p>②実施状況、意識の変化と活用状況</p> <p>③「授業に関する生徒アンケート」結果</p> <p>①「授業に関する生徒アンケート」結果</p> <p>②地域と連携した活動状況</p>	<p>①OB懇談会、大学別懇談会を実施した。</p> <p>②生徒アンケートより、授業を理解している生徒が4.3ポイント上昇した。</p> <p>③夏季講習は夏季休業が短縮された中で、35講座、延べ521人が参加した。図書館及びセミナー室の開放時間を昨年度末より延長した。</p> <p>①保護者アンケートより、行事は9割以上が充実、部活動も9割以上が適切と答えている。</p> <p>②コロナ禍のため、地域連携については自粛した。</p>	A	<p>入試制度の変更があり、今年の様子を参考にして、更に対応を考える。今年、コロナ感染拡大防止のために、対話を控えていたので、今後の社会情勢次第で改善が可能である。学習環境改善は、更に進めていく。</p> <p>次年度は、生徒の生活状況アンケートをとり、課題を見つける。コロナ禍が沈静化した時に、活動を増やしていく。</p>
2	<p>○120年超の伝統と歴史に育まれた校風の下、生徒は切磋琢磨しながら充実した学校生活を送っている。新たな時代でリーダーとなる資質の向上を図るとともに高い「志」を実現させる取組をさらに活性化させる必要がある。</p> <p>○学習習慣の確立のため、家庭と情報共有しながら協力してきめ細かい進路指導を行う必要がある。</p>	<p>グローバルな視点を養う事業等を充実させ、生徒が高い志や目標にチャレンジする気概を育てる。</p> <p>校内指導の体制を連動させて、高い次元での進路希望を実現させる。</p>	<p>①本校の国際交流事業や県のリーダー育成推進事業等への参加を勧め、学校外の力も活用し生徒の意欲を高める。</p> <p>②「サイエンス探究事業」や「総合的な探究・学習の時間」において主体的な学びを実践する。</p> <p>①大学入試改革や次期学習指導要領等に向け、校内組織の間で情報共有を密に行い、有機的な対応を行う。</p> <p>②各学年の指導内容等の情報を共有するため、外部の説明会等へ積極的に参加する。</p>	<p>①参加生徒の事前事後研修への意識・意欲の変化と成果の全校生徒への還元</p> <p>②総合的な探究・学習の時間への生徒の意識・意欲の変化</p> <p>①模試分析、各事業での生徒・保護者・参加者によるアンケート結果</p> <p>②参加状況と情報の活用状況</p>	<p>①冬季休業中のエンパワーメントプログラムは、留学生の人選に難航した。</p> <p>②「川高サイエンス探究」には1,2年合わせて130名が参加した。全校講演会は9割が肯定的であった。</p> <p>①模試は、学校で実施した。例年よりも参加生徒は多くなった。進路指導部中心で、各年次学年に情報提供を行った。</p> <p>②校外における説明会等はことごとく中止となり、進路指導部が中心となり、情報収集をして、その情報を全体で共有をした。</p>	A	<p>多くの事業が、コロナ禍のため、予定通りにできなかった。落ち着いた学校生活が再開された時に、前年度以上に活性化させていく。</p> <p>情報収集を更に行い、学校全体で共有し、生徒の志望実現をしていく。</p>
3	<p>○本校の魅力伝えるための情報発信はしているが、さらに広範囲に効率的な広報が必要である。</p> <p>○生徒が安全・快適な学校生活を送れるようにするため、引き続き安心安全な学校づくりを一層進めていく必要がある。</p>	<p>教育活動の情報発信を行う。生徒保護者地域社会等からの反応、参加がある。</p> <p>学習・生活環境を一層整備し向上させる。</p>	<p>①入試広報部を中心に学校説明会、進学フェア、土曜学校説明会等の広報を積極的に行い、行事を進展させる。</p> <p>②小学生向け説明会や科学教室等、地域連携事業を充実発展させる。</p> <p>③メディア等の活用を行う。</p> <p>①校内の安全点検等通じ、危険箇所や破損施設の改善を迅速に行う。</p> <p>②緊急連絡システムの運用やホームページでの緊急連絡など、危機管理体制を構築し緊急時生徒用備蓄品を整備する。</p>	<p>①学校案内やポスター内容の作成時期及びアンケート評価、ホームページの閲覧数</p> <p>②土曜公開授業見学者人数およびアンケート結果</p> <p>③メディアでの掲載数</p> <p>①対応が必要な施設設備の改善状況</p> <p>②緊急連絡の活用状況、緊急時生徒用備蓄品の整備状況</p>	<p>①学校案内は例年より早く作成した。事前申し込みのシステムを構築し、例年程度の学校説明会及び公開授業を実施し、志願者数の確保に務めた。</p> <p>②小学生向けの説明会・科学教室は実施できなかった。次年度のコロナ禍の沈静化を期待したい。</p> <p>③水泳部の活動が民放で合計1時間程度放映された。</p> <p>①消毒用具を大量に購入した。各教員の意識が高く消毒体制を確立できた。</p> <p>②全校メールとホームページを活用し、緊急時の連絡を行った。生徒用備蓄品は更新をした。</p>	B	<p>各年次、学年でそれぞれ年8回程度の通信を発行して、情報発信をしている。また、保護者対象の進路学習会も実施した。公開授業等はコロナ禍のため縮小となったので、効果的な活動ができなかった。次年度のコロナ禍の沈静化を期待したい。</p> <p>家庭への情報発信は一斉メールをメインとして、補助的にホームページを活用することをルールとして構築する必要がある。噂による誤情報発信を防ぐ必要がある。</p>

学校関係者評価	
実施日 令和3年2月4日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
(評議員) 大学入試の結果や進学実績はとても大切なことであり、在校生や保護者、また、進学希望者にとって関心の高い要素であると思いますので、今後もさらに充実改善していかなければならないものと考えます。授業時間が確保できたことの学校側の態勢(体制ではない)は評価できる。模試を学校で実施したことも評価できる。自習時間確保のため、生徒のニーズに応えた図書館の開放時間を延長したことは評価できる。(生徒) コロナの影響があったため対面で行うものにも制限がかかってしまった。授業も理解しやすく、レベルの高い学習が行えてうれしい。今後も続けていってほしい。	
(評議員) 自己実現のための第一歩としての進路選択と、そのための進路指導、そして、卒業後も母校とのつながりを大切にしつつ、どのように生きていくかまで含めた生き方指導をさらに充実させていただきたい。最上位層の次のグループを増加させる方策が次年度の課題に挙げられるので、これもぜひ精力的に取り組んでいただきたい。実はこの層にこそ将来活躍する人物が出てくることが多いからである。厳しい状況ながら、エンパワーメントプログラムが実施できた。川高サイエンスにオンラインを活用して講演会を開催した。以上のことは評価できる。(生徒) 任意参加の模試反省会の参加率が異常に少なかった。担任が生徒に参加させるよう促すことも大切だと思う。「総合的な探究の時間」で、川高のOBに来ていただき自分たちが行っている探究内容についての意見を言っって貰い、自分の視野が広がり、意欲が高まった。	
(評議員) 「年次通信」は先生方の労力がかかるが、生徒・保護者への発信効果は大きい。安心安全な環境は学校教育活動の基盤であると思う。感染症対策はもとより、生徒の心の健康まで含め、今後も心身の調和のとれた発達を促す教育活動を推進してほしい。(生徒) 学習・生活環境に関して、問題となっていたトイレが今年で新しくなるのは本当にありがたいです。ただ、やはり全体的に校内でゴミやホコリが目立ちます。校内の清潔度はやはり川高の評価にも関わる為、今後の対応が大事だと思います。生徒会の方でも何か対策をとっていきたくて考えています。	

